

ムナグロ(チドリ科) 全長 24 センチ

今年も大仙市内にムナグロの集団が飛来した。

昨年と同じ時季、同じ場所に現れたことは驚きです。ムナグロにとってこの場所は、渡りの途中に通過するルートに組み入れられているのでしょう。野鳥仲間のS氏から連絡をいただき、現場の田んぼに到着したときは20数羽が羽を休めていた。



畦道で一休み。片足立ちです。

殆ど動きが無く、見つけるまで少しばかり時間がかかります。農道には野鳥仲間の車と、三脚がずらりと並んだ。

しかし、ムナグロは1羽も飛び去ることもなく、あまり警戒していない様子。喉元からお腹までが黒い成鳥と、違う模様の幼鳥も見つかりました。



田んぼの中に入ると見つけにくくなります。



目元がパッチリとしています。

数羽が歩きだし、時々クチバシを土の中に刺し込んでいます。なにを探しているのか分かりませんが、引っ張り上げたのは大きなミミズでした。



瞼を閉じたとき、上下から白い模様が現れました。



土の中から引っ張り上げたのはミミズでした。

ユーラシアと北米大陸の寒帯で繁殖し、日本には春と秋に渡来する旅鳥です。この地で体力をつけると、北の繁殖地を目指して再び飛び立って行くことでしょう。

また来年も逢えることができるよう願っています。



こちらは幼鳥です。



水浴びをした後、水気を振り払った。